

未来の医療に

いのちを託す



あなたの余命は、あと、どのくらいですか？
今の医療では治療する方法が見つかりませんか？

残された人生を、どう生きようと思いますか？

私達は現代の医療では治療が困難な難病に対する最後の手段として、
全身の極低温保存サービスを提供しております。

死亡診断の根拠となる心停止と、実際の肉体の中で起こる細胞死には
数十分から数時間程度のタイムラグが存在します。

もし、そこで細胞が死んでいくプロセスを止める事が出来れば、
実際の死を迎える手前の状態で身体を数百年以上保存する事が出来るのです。

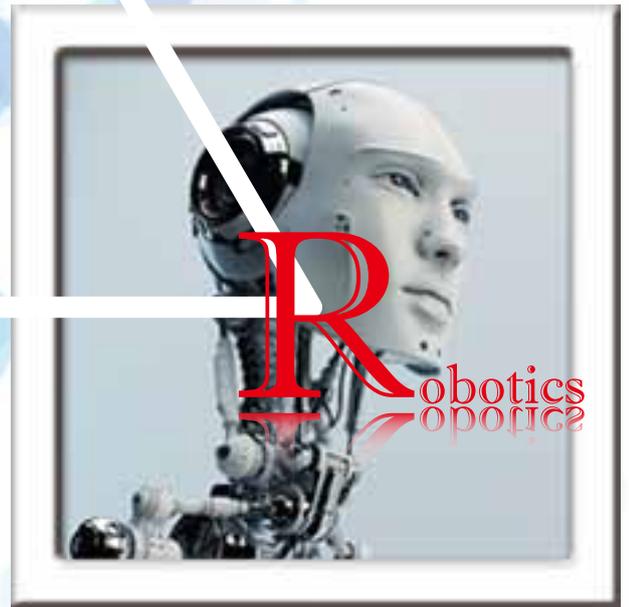
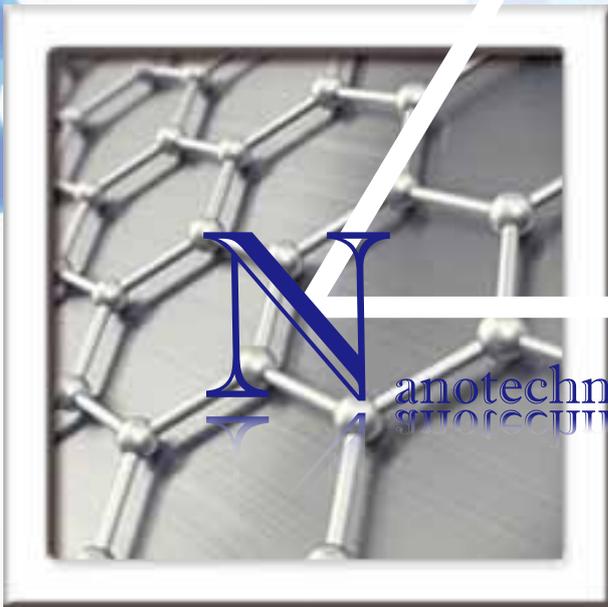
未来の医療によって、再び生きられるその日まで。

なぜ今クライオニクスなのか？

あらゆるテクノロジーは一定の潜伏期間とごく短期間での爆発的な成長期が特徴です。そしてその爆発の間隔はどんどん短くなっています。現在その潜伏期間にあるのが DNA を改変して細胞の寿命を伸ばす技術、脳の情報を読み出す技術、人間の脳を越えるコンピュータを作り出す技術です。



こうしたイノベーションは遺伝学、ナノテクノロジー、ロボティクスなどのこれまでの基礎科学の蓄積の上に支えられています。未来学者でもあるレイ・カーツワイルによると、2030年から2045年頃にかけて段階的に人類の運命を大きく左右する大爆発が起こる事が予測されています。それが技術的特異点（シンギュラリティ）です。



老化や死の科学的なメカニズムを完全に解明し、細胞の老化を逆戻し、あるいは再生医療によって老化した身体組織を新しい細胞や臓器と置き換える技術が見えてきました。すなわち、死の克服です。近い将来、若々しい身体を百年や千年と言ったスパンで維持出来る、実質的に寿命のない世界に足を踏み入れる事が出来る可能性が日に日に高くなっています。今現在 60 代を超えると残念ながらその可能性は徐々に減って行ってしまいます。しかし、シンギュラリティよりも前に寿命が来てしまったとしても、その時点でご自身の身体を長期保存すれば、新たな肉体に若返って蘇生される可能性が僅かにあります。クライオニクス技術にはここ数年で大きな進展があり、脳の中の神経結合に関する情報を残す保存法が開発されました。これまでの習慣に従ってご遺体を火葬されてしまうと、肉体も情報も全てが失われ、未来での蘇生の可能性が完全に断たれてしまいます。死と共にあなたの過去も大切な思い出も、未来への希望も全てが消えて無くなってしまいます。だからこそ、私達はクライオニクスという未来への切符をあなたにご提供したいのです。

クライオニクスサービスのご提供の流れ

日本トランスライフ協会

ご契約



- ご契約が可能かの事前確認
- 日本トランスライフ協会へのご入会と契約
- クライオロス社との契約

ご遺体の搬送



- ご遺体の予備冷却と一時保管
- 空輸の書類手続き
- 納棺と空輸棺梱包
- 空港への搬送、引き渡し



空輸



- モスクワの国際空港にて空輸棺の引き受け
- クライオロス社の保管施設に搬送
- 長期保管庫へご遺体を納める

クライオロス社

長期保管



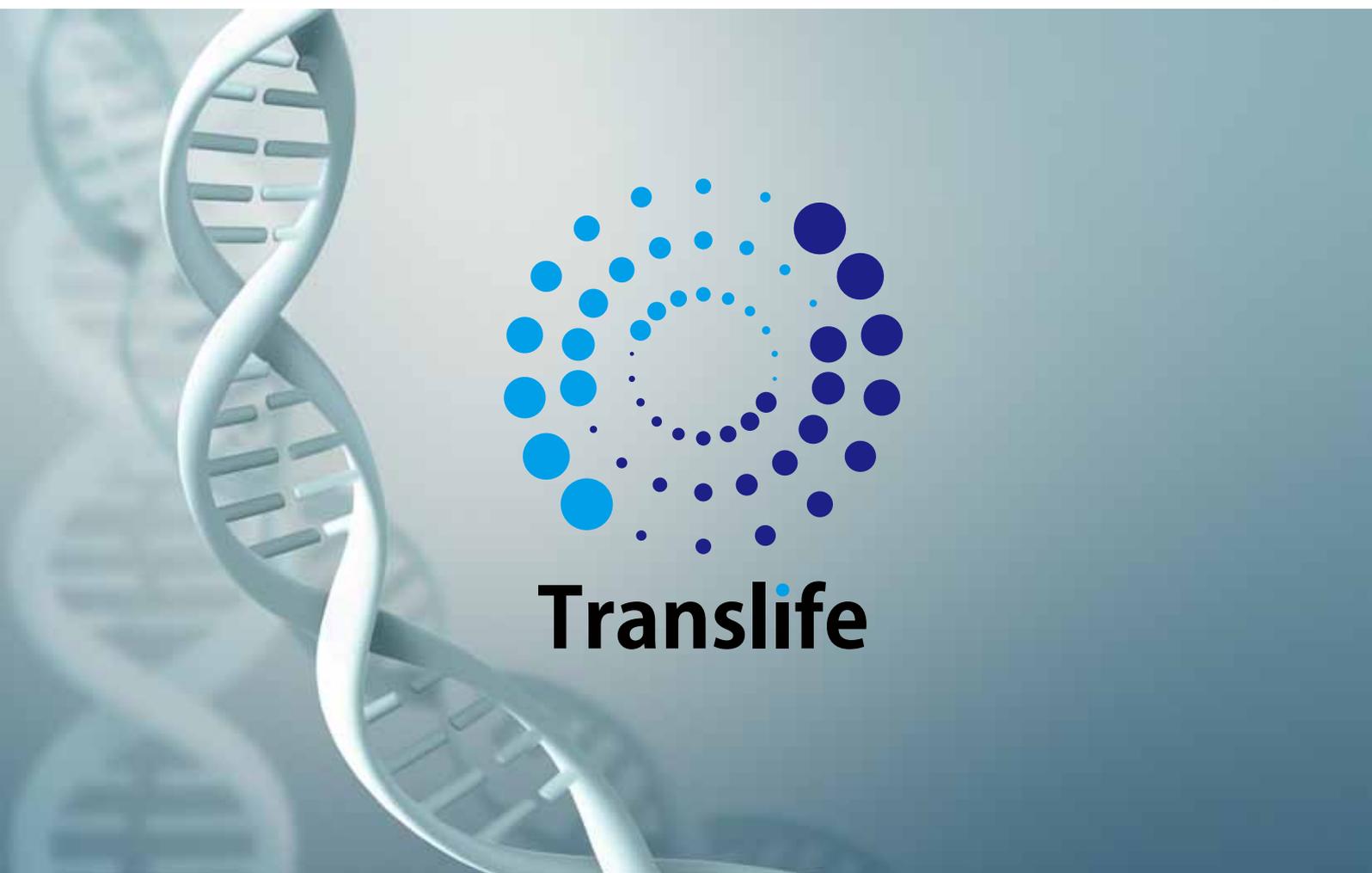
- モスクワ郊外の専用施設
- 100年+25年間の長期保管

法人情報

事業者名 : 一般社団法人日本トランスライフ協会
登記上の所在地 : 神奈川県横浜市磯子区森2-18-17

事業目的

- (1) 人間の知的能力を拡張する調査研究
- (2) 人間の生命を保存する調査研究
- (3) 人体を長期保管する組織と連携した人体の保存



所在地

事務所 : 東京都杉並区和泉1-1-14 鈴木ビル2F
(鈴木葬儀社内)

電話 : 03-3328-0921 (鈴木葬儀社内)

ホームページ : <http://www.translife.jp>

電子メール : info@translife.jp

Ver0.3 2017/05/13